



※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は、甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた、舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」になって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

実りの秋を迎えました

芸術の秋、食欲の秋、読書の秋…と、爽やかな空気を吸いながら、子ども達は学年に応じて様々な学習を進めています。特に、教室から出た校外学習は、各学年の社会科や理科などの内容に応じた様々な体験をすることができる機会となりました。保護者の皆様には、お弁当や持ち物等でご配慮をいただきました。ご協力ありがとうございました。

ところで、報道でもご存じの通り、北海道では連続して100人以上が陽性反応となり、警戒レベルが「3」に引き上げられたそうです。また県内でも南アルプス市内小学校の職員と児童に陽性反応があり、臨時休校にもなりました。山梨県の陽性者数を見ると、いつ・誰が陽性になっても不思議ではない状況です。全校の子どもたちが安心して登校できますよう、具合が悪いときは無理せず休む、かかりつけ医で診察していただく等、子ども達の健康管理へのご配慮をお願いします。

1年生

1年生は、緑が丘陸上競技場や湯村山方面へ出かけました。かなり長い距離でしたが、みんなしっかりと歩いて「ドングリ」を拾ったり「船出公園」で遊んだりして、秋を満喫しました。今年は長雨の影響か、思いのほかドングリが少なかったです。お昼は、お楽しみのお弁当を広げて楽しそうに食べていました。



2年生

2年生は、愛宕山子どもの国・県立科学館へ向かいました。午前中はこどもの国の遊具で遊んだり、ドングリを拾ったり元気一杯に活動しました。お弁当を食べた後は、科学館でプラネタリウムを見て、「夏の大三角形」や「星座」についての勉強をしました。体験コーナーでは巨大なシャボン玉などをつくり、科学の不思議を感じる事ができました。



3年生

3年生は、南アルプス市にある「安藤家住宅」の見学をしました。ここは、昔の庄屋さんの家で、盗賊用の隠し部屋など、当時の人々の暮らしを感じることができました。午後は「はくばく」で工場の仕組みの勉強をしました。さすが食品工場だけあって衛生管理が日頃から徹底されているため、コロナ禍の中でしたが安心して見学をすることができました。



4年生

4年生は、クリーンセンターの見学に行きました。以前は、小瀬にあった環境センターですが、笛吹市と共同で運営しています。沢山のゴミが運ばれてきますが、センター内はとても綺麗でした。大きなクレーンがゴミを攪拌する場面は迫力がありました。浄水場では、市内に綺麗な水が届けられる仕組みを勉強しました。暮らしに欠かすことのできない「水・ゴミ」問題について考えることができたと思います。



5年生

今年は、コロナ禍のため林間学校は2度の延期となりましたが、八ヶ岳少年自然の家で大切な友達と一晚を過ごすことができました。台風の影響で2日間とも残念な天気となってしまいましたが、高原の寒さ・友達と食べたソフトクリームのおいしさ・宇宙の神秘・人の心の温かさなど学校では経験できない教科書には載っていない沢山の勉強ができたことと思います。この経験を生かして、子ども達は高学年として頑張ってくれるものと思います。



地域連携あいさつ運動

舞鶴小と池田小、西中は同じ西中学区として三校連携活動を行っています。継続指導の視点は「あいさつ・ききかた・おもいやり」ですが、13～15日には、三校が日を合わせて「地域連携あいさつ運動」を行いました。保護者のみならず「なでしこガーディアン」や自治会長さんなど地域の方も含め、3日間でのべ30名の方に参加していただきました。地域の方には、普段から子ども達への声かけや見守りをいただいておりますが、これからも子ども達の健全な育成のため、ご支援とご協力をお願いいたします。



反射リストバンド贈呈

甲府警察署と甲府安全運転管理者協議会より反射リストバンドの贈呈が1年生にありました。「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、日の入りに合わせてすぐに暗くなります。有効活用させていただくとともに、全校の子どもたちにも「暗くなる前に帰宅する」よう呼びかけていきたいと思ひます。



たてわり班自己紹介

23日には、半年遅れとなりましたが、自己紹介を各たてわり班ごとに行いました。6年生は、リーダーとしてたてわり班をリードしていきます。これまで通りの活動ができないのは残念ですが、運動会と同様に「三密」を避けながらできる範囲での取り組みをしていきたいと思ひます。



6年生陸上記録会

今年度はコロナ禍のため、6年生は学校で陸上記録会を実施しました。子ども達は、自己記録を伸ばそうと懸命に練習してきました。「緊張する。」の声もありましたが、友達の声援に支えられながら全力を尽くしました。競技を終えた友達に拍手を送る姿はとても素晴らしかったです。1つの個人競技に全力を出す経験を自らの可能性を広げるために生かしてほしいと思ひます。



まいづる未来子ども教室

本校では、子ども達の放課後の「三間」である「時間・空間・仲間」を取り戻す場所として、「まいづる未来子ども教室」が開かれることとなり、市の主催で推進協議会が開催されました。地域や各種団体との連携による多彩なプログラムが実施される予定のようです。子ども達の可能性がより一層広がることを期待しています。

